

## ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2005年8月16日

2005年8月14日現在：

8月14日に終わる週の東部ワシントンの気象は、続き高温・乾燥気象であった。最高気温はEC地区では94~97度F、SE地区では92度F (Pullman) ~100度F (Hanford) であった。Topsoil 及び Subsoil の水分が更に減少した。1週間の州平均農作業稼働日数は6.8日 (前週：6.9日) であった。

EC地区では小麦の収穫が略完了した。SE地区西部では8月12日に強風を伴った降雨があり、小麦の収穫は中断したが、翌日より収穫は再開された。降雨による小麦への被害は未定。Spokane郡の小麦収穫は週末の降雨でやはり中断したが、その後順調。Walla Walla郡の冬小麦の収穫は最終段階に入った。Whitman郡の中央から東部に掛け収穫の最盛期となった。Whitman郡西部の収穫は完了し、2006年産冬小麦の播種準備に入った。

Soft White 小麦の品質は、昨年と比較し多少容積重が高い傾向と報告された。蛋白質は10.1~10.7% (水分：12%ベース) 程度で、略昨年と同程度と報告された。

8月1日付けUSDA発表の冬小麦生産量予想では、単位収量は7月1日付け予想と同数の69.0 bu/acr であった。春小麦の生産量予想では、単位収量は7月1日予想より2.0 bu/acre 良い47.0 bu/acre (昨年：50.0 bu/ac) であった。詳細は別表の通り。

土壌水分及び灌漑用状況 : 8月14日現在

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	29	33	38	0
5-Yr Ave.	21	44	34	1
Subsoil (%)	29	42	29	0
5-Yr Ave.	12	49	39	0
Irrigation W.	16	23	61	0
Irr. Water Ave	2	4	94	0

Ave. means 5-year average

小麦の生育状況：8月14日現在

	This week	Last week	2004	5-yr. Ave.
Winter Wheat Harvested (%)	53	43	61	50
Spring Wheat Harvested (%)	66	58	73	71

小麦の作柄状況：8月14日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Spring Wheat Dryland (%)	7	13	38	40	2
Irrigated (%)	12	15	15	40	12

Source : Washington Agricultural Statistics Service, USDA

8月1日付けUSDA冬小麦生産量予想：

State	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
July 1				Aug 1			
WA	1,750	1,850	67.0	69.0	69.0	117,250	127,650
USA	34,462	34,271	43.5	44.5	44.4	1,499,434	1,520,848

8月1日付けUSDA春小麦生産量予想：

State	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
July 1				Aug 1			
WA	525	435	50.0	45.0	47.0	26,250	20,445
USA	13,174	13,637	43.2	43.2	40.6	568,918	553,375

当該作柄・気象レポートに関するご質問は下記にお願い致します。

小川正晃：<mailto:ogawa.max@omicnet.com>